

# 会 議 録

|     |  |
|-----|--|
| 会議録 | 平成29年度 第1回 豊田市公共交通会議   |
| 次 第 | <p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 平成29年度の取り組みについて</p> <p>4 地域公共交通会議について</p> <p>5 議 事</p> <p>【協議案件】</p> <p>(1) 豊田市公共交通会議規約の改正について</p> <p>(2) 基幹バスの便数変更について</p> <p style="padding-left: 20px;">①小原・豊田線</p> <p style="padding-left: 20px;">②藤岡・豊田線（西中山経由）</p> <p>(3) 地域バスの路線改編等について</p> <p style="padding-left: 20px;">①水源東バス（路線定期運行）</p> <p style="padding-left: 20px;">②足助地域バス「通学線」（路線定期運行）</p> <p style="padding-left: 20px;">③足助地域バス「地域巡回線」（路線定期運行）</p> <p style="padding-left: 20px;">④旭地域バス（路線定期運行）</p> <p style="padding-left: 20px;">⑤旭地域バス（路線不定期運行）</p> <p style="padding-left: 20px;">⑥松平地域バス（区域運行）</p> <p>(4) 地域公共交通確保維持改善事業について</p> <p style="padding-left: 20px;">◆平成30年度地域内フィーダー系統確保維持計画</p> <p>【報告案件】</p> <p>(1) 地域バスの路線改編について</p> <p style="padding-left: 20px;">◆下山地域バス（区域運行）</p> <p>(2) 工事等に伴う迂回運行について</p> <p style="padding-left: 20px;">◆旭地域バス（路線定期運行）</p> <p>(3) 各種イベントに対応した運行計画の変更について</p> <p>(4) 平成28年度バスの利用状況について</p> <p>(5) おいでんバスを活用したサイクリングプランの展開について</p> <p>6 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの運行事業者選定状況について</li> <li>・次回、会議の開催予定について</li> </ul> <p>7 閉 会</p> |
| 日 時 | 平成29年6月22日（木） 午後1時30分～午後3時00分  |
| 場 所 | 豊田市役所 南庁舎5階 南51会議室   |

|                      |  |
|----------------------|--|
| <p>出席者<br/>(敬称略)</p> | <p>【委員】 荻野 弘 (豊田工業高等専門学校)<br/> 野田 宏治 (豊田工業高等専門学校)<br/> 山本 進一 (国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所)<br/> 杉本 忠久 (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局)<br/> 桑原 良隆 (愛知県振興部交通対策課) (代理：神谷)<br/> 岩月 康男 (愛知県豊田加茂建設事務所)<br/> 志水 昌吾 (愛知県警察豊田警察署) (代理：竹下)<br/> 柿本竜一郎 (愛知県警察足助警察署) (代理：高見)<br/> 岩月 正光 (豊田市都市整備部)<br/> 小澤 伸也 (社会福祉法人豊田市社会福祉協議会) (代理：川合)<br/> 釘宮 順子 (とよた市民活動センター運営協議会)<br/> 石川 雅之 (豊田市PTA連絡協議会)<br/> 三浦 司之 (豊田商工会議所)<br/> 加藤 憲治 (愛知県タクシー協会)<br/> 古田 寛 (公益社団法人愛知県バス協会) (代理：金丸)<br/> 深町 明弘 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会)<br/> 近藤 博之 (名鉄バス株式会社)<br/> 横田 太 (豊栄交通株式会社)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課</p> |
| <p>資料</p>            | <p>1. 次第<br/> 2. 平成29年度 第1回 豊田市公共交通会議 会議資料</p>   |

(要約)

議事

【協議案件】

(1) 豊田市公共交通会議規約の改正について

○事務局 【資料1】に基づき説明。

意見等なし。

<協議結果：全員承認>

(2) 基幹バスの便数変更について

①小原・豊田線

②藤岡・豊田線 (西中山経由)

○事務局 【資料2-1, 2-2】に基づき説明。

○委員 昨年度は情報提供が遅かったからなのか、増便及び延伸のダイヤに乗車される方が少なかった。今年は早めに情報提供をしてほしい。

○事務局 小原支所、小原観光協会と連携をして、早めに情報提供を行っていく予定。

○委員 観光対応で実施する改編であると思うため、どの範囲でどのように周知するのか教えてほしい。

○事務局 まずは沿線の住民の皆様にはしっかり周知をさせていただく。また、観光については外国の方の来訪者が非常に多かったと聞いているため、観光協会と一緒にチラシやホームページでPRをさせていただきたいと思っている。

○委員 外国語でも案内をするということか。

○事務局 そのように進めていく。

- 委員 「藤岡中学校前」が停まらなくなることについてはバス停にも告知をしていくのか。
  - 事務局 事前に告知を行なっていく。
- <協議結果：全員承認>

### (3) 地域バスの路線改編等について

#### ①水源東バス（路線定期運行）

- 事務局 【資料3-1】に基づき説明。
- 意見等なし。
- <協議結果：全員承認>

#### ②足助地域バス「通学線」（路線定期運行）

#### ③足助地域バス「地域巡回線」（路線定期運行）

- 事務局 【資料3-2, 3-3】に基づき説明。
  - 委員 「則定」バス停は、名鉄バスのバス停柱の横に置くかと思うが、歩行者の安全は確保されている場所か。また、「さぎりだ前」バス停は道路が膨らんだところへバス停柱を設置するのか。
  - 事務局 「則定」バス停は、名鉄バスのバス停柱すぐ横の利用者に邪魔にならない場所に設置する。また、「さぎりだ前」バス停は道路が膨らんだ場所でバスの停車や利用者が待つことができるように設置したいと考えている。
- <協議結果：全員承認>

#### ④旭地域バス（路線定期運行）

#### ⑤旭地域バス（路線不定期運行）

- 事務局 【資料3-4, 3-5】に基づき説明。
- 意見等なし。
- <協議結果：全員承認>

#### ⑥松平地域バス（区域運行）

- 事務局 【資料3-6】に基づき説明。
  - 委員 イベント時の利用者数はどれくらいを想定しているか。
  - 事務局 初めての取組であり、想定数は未定。しかし、一部イベントの主催者に参加者200名ほどと確認したため、半数程度の方に利用していただきたいと思っている。
  - 委員 PRはどのように行っていくのか。
  - 事務局 各イベント主催者と詳細を決めていくが、各自治区の回覧でPRしていきたい。早いイベントだと8月に開催されるものもあるため、早急に対応する。
- <協議結果：全員承認>

### (4) 地域公共交通確保維持改善事業について

#### ◆平成30年度地域内フィーダー系統確保維持計画

- 事務局 【資料4】に基づき説明。
- 意見等なし。
- <協議結果：全員承認>

### 【報告案件】

#### (1) 地域バスの路線改編について

#### ◆下山地域バス（区域運行）

- 事務局 【報告1】に基づき説明。
- 意見等なし。

(2) 工事等に伴う迂回運行について

◆旭地域バス（路線定期運行）

- 事務局 【報告2】に基づき説明。  
意見等なし。

(3) 各種イベントに対応した運行計画の変更について

- 事務局 【報告3】に基づき説明。
- 委員 乗車人数は例年どれくらいなのか。
- 事務局 乗車予定人数が過去4年間の平均値となっている。

(4) 平成28年度バスの利用状況について

- 事務局 【報告4】に基づき説明。
- 委員 高岡地域バスについては平成27年度の利用が非常に多いため、前年度と比較すると大幅に減少しているようだが、平成26年度を含むそれ以前から比較すると年々増加していることが分かる。前年度だけで比較することなく、2, 3年のスパンでバスの利用状況を捉えることで今後活かしてほしい。
- 事務局 ご指摘のとおりである。平成27年度の利用者数が多かった理由は地域バス担当者が分析をしている最中である。今後は広いスパンで見していきたい。

(5) おいでんバスを活用したサイクリングプランの展開について

- 事務局 【報告5】に基づき説明。
- 委員 快速いなぶは通学での利用を最大の目的に新設したと以前聞いたが、その利用者数がなかなか伸びず、今回のような利用促進策を検討しているとは思う。この路線を維持していくための解決策になると思うが、通学利用をしている方を含め、皆さんの意見を聞きながら納得のできるプランにしてほしい。
- 事務局 サイクリングプランの展開は、時間帯や目的地が通学利用者と重ならないところで調整をしていくものである。先日、実際に自転車をバスに持ち込み、コースを走行した。アンケート等で意見を聞きながら慎重に進めていきたい。もちろん通学での利用者も今後増えていくようPRをしていく。
- 委員 車いすの方が利用されることも想定しているか。
- 事務局 車いすやベビーカーでのご利用もちろんあるため、十分に配慮をしたプランの展開を考えている。また、快速いなぶの運行が2年目になり、通学利用も徐々に増えている。継続して運行していくことが安心してご乗車いただけるひとつの要因だと思っており、おいでんバスが9年連続利用者数が増えているのも生活の路線として使っているからこそだと感じている。快速いなぶもそういった視点を忘れずに継続可能な路線にしていきたい。
- 委員 乗務をしていると、サイクリングをしたら気持ちいいだろうなと感ずることがある。自転車を専用の袋に入れて手回り品として車内へ持ち込むことになると思うが、バスへの持ち込みの紹介と合わせて、他の乗客の方に迷惑がかからないような周知もお願いしたい。
- 事務局 しっかり対応していく。

その他

- ・バスの運行事業者選定状況について
- ・次回、会議の開催予定について
- 事務局 次回会議は、平成29年8月21日（月）午後3時から開催を予定している。

以上